

## 〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

高橋 義文 たかはし・よしふみ

アンドリューズ大学大学院修士課程修了，東京神学大学大学院博士課程修了。神学博士（東京神学大学）。三育学院短期大学教授・学長，エモリー大学客員研究員，聖学院大学大学院教授を経て，現在，聖学院大学大学院客員教授，聖学院大学総合研究所副所長。

〔著書〕『キリスト教を理解する』、『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』、『ニーバーとリベラリズム』、『パウル・ティリッヒ研究』（共著），『教育の神学』（共著），チャールズ・C・ブラウン『ニーバーとその時代』，ジョン・ウィッチ『自由と家族の法的基礎』（共監・共訳），ラインホルド・ニーバー『ソーシャルワークを支える宗教の視点』（共訳），ほか。

ナグネ 洛 雲海

1964年東京生まれ。日本人。東京神学大学大学院修士課程修了。韓国・延世大学校韓国語学堂卒。韓国政府招請奨学生として韓国に留学。長老会神学大学校（PUTS）大学院修了。神学博士。長老会神学大学校助教授（組織神学）。聖学院大学総合研究所客員教授。

〔著書〕*Japanese and Korean Theologians in Dialogue, A Theology of Japan Vol. 10*, Seigakuin University Press, 2017. (共著)，『평신도를 위한 알기쉬운 교리 (信徒のための教理)』（서울: 도서출판 하늘향, 2017）(共著) など。

〔論文・訳書〕「伝道のパースペクティブにおける聖霊論——理性・靈性・身体性を統合する統全的聖霊論のための序説的試論」『季刊教会』No. 92（東京：日本基督教団・改革長老教会協議会・教会研究所，2013），「説教のことばと説教者の生——ことばの受肉をめぐる説教者論」『神学』75号，山口隆康教授献呈論文集，東京神学大学神学会（東京：教文館，2013），‘춘계 (春溪) 이종성 박사의 종말론’ 책임편집 김도훈・박성규（「春溪 李鍾聲博士の終末論」）責任編集金道訓・朴成奎，『춘계 이종성 박사의 생애와 사상 (春溪 李鍾聲博士の生涯と思想)』（서울: 장로회신학대학교출판부, 2014）ほか，論文翻訳・書評多数。

五十嵐 成見 いからし・なるみ

1980年生まれ。青山学院大学文学部卒。東京神学大学神学部および東京神学大学大学院神学部修士課程修了（組織神学）。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所博士課程修了。博士（学術）。現在，聖学院大学人間福祉学部チャプレン，人間福祉学科助教（2018年

4月より、心理福祉学部チャプレン、同学部心理福祉学科助教。日本キリスト教団花小金井教会牧師（2018年3月まで）。社会福祉法人しおん保育園理事および滝山しおん保育園チャプレン。埼玉YMCA評議員。

〔著書〕『主イエスを愛し続けて』（共著、説教熟紀要別冊説教集、教文館、2014年）。

〔論文〕「ラインホルド・ニーバーの神話・象徴論——歴史と超歴史の弁証法的次元の表現」（『聖学院大学総合研究所紀要』No.58, 2015年）, 「ラインホルド・ニーバーの愛の理解——犠牲愛と相互愛の関係を通して」（『青山学院高等部研究報告』第36号, 青山学院高等部, 2015年）, 「ラインホルド・ニーバーの恩寵論——一般恩寵の関係を含めて」（『聖学院大学総合研究所紀要』No.60, 2016年）, 「ラインホルド・ニーバーの自然法批判と再解釈」（『聖学院大学総合研究所紀要』No.61, 2016年）, ほか。

高橋 愛子 たかはし・あいこ

国際基督教大学行政学研究科博士課程単位取得退学。学術博士（2003年、国際基督教大学）。恵泉女学園大学非常勤講師を経て、2004年4月より聖学院大学政治経済学部政治経済学科助教授、現在、同学科教授。国際基督教大学社会科学研究所研究員。

〔著書〕初宿正典・古賀敬太編『カール・シュミットとその時代』（共著、風行社、1997年）、姜尚中・齋藤純一編『逆光の政治哲学』（共著、法律文化社、2016年）。

〔翻訳〕H・クヴァーリチュ編『カール・シュミットの遺産』（共訳、風行社、1993年）、古賀敬太・佐野誠編『カール・シュミット時事論文集』（共訳、風行社、2000年）、C・ムフ編『カール・シュミットの挑戦』（共訳、風行社、2006年）、J・タミール『リベラルなナショナルリズムとは』（共訳、夏目書房、2006年）。

〔論文〕「《国家理性》再考」『社会科学ジャーナル』No.48（ICU-SSRI, 2002年）, 「『シュミット問題』が投げかけるもの」『社会科学ジャーナル』No.53（ICU-SSRI, 2004年）, 「〈合法性〉をめぐる二つの次元——法と政治の間についての一試論」『聖学院大学総合研究所紀要』No.39（聖学院大学総合研究所, 2007年）, 「〈合法性〉と〈状況適合的擬似合法性〉の間——『パーベン・クーデター』事件から『国事裁判』へ」『聖学院大学総合研究所紀要』No.47（聖学院大学総合研究所, 2010年）, 「〈合法性〉の空洞化——1920年代のドイツにおける経済の独占化過程と議会外立法様式」『聖学院大学総合研究所紀要』No.60（聖学院大学総合研究所, 2015年）, 「『プロイセン対ライヒ』裁判におけるカール・シュミットとヘルマン・ヘラー——法廷での対決をめぐる」『聖学院大学総合研究所紀要』No.63（聖学院大学総合研究所, 2017年）他。

菊地 順 きくち・じゅん

1955年生まれ。東北大学文学部卒業、同大学院文学研究科博士課程後期中退、東京神学大学大学院修士課程修了、米国エモリー大学大学院（Th. M）修了。博士（学術、聖学院大学）。1992年、聖学院大学専任講師、人文学部チャプレンに就任、現在、政治経済学部教授。聖学

院キリスト教センター所長，大学・政治経済学部チャブレン。

〔著書〕『信仰から信仰へ』（日本伝道出版），『とこしなえのもの』（日本伝道出版），ほか。

〔論文〕「M・L・キングの神人共働論」『聖学院大学総合研究所紀要』59号，2015年，「M・L・キングの人間論」『聖学院大学総合研究所紀要』60号，2015年，ほか。

柳田 洋夫 やなぎだ・ひろお

1967年生まれ。東京大学文学部倫理学科卒業。東京大学大学院人文科学研究科（倫理学）修士課程修了。同博士課程中退。東京神学大学大学院博士前期課程修了。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学術研究科博士後期課程修了。博士（学術）。聖学院大学人文学部日本文化学科准教授，人文学部チャブレン（2018年4月より，人文学部児童学科・日本文化学科教授，大学チャブレン，人文学部チャブレン）。

〔訳書〕コリン・E・ガントン『説教によるキリスト教教理』（教文館，2007年），アリストター・E・マクグラス『歴史のイエスと信仰のキリスト』（キリスト新聞社，2011年），ラインホルド・ニーバー『人間の運命——キリスト教的歴史解釈』（共訳，聖学院大学出版会，2017年）。

〔論文〕「山路愛山における『共同生活』概念について」（『聖学院大学総合研究所紀要』37号，2007年），「リチャード・ニーバーの責任倫理と日本人」（『季刊 教会』No.68・69，2007年），「山路愛山の教育論」（学校伝道研究会『キャンパスミニストリー』第19号，2009年），「なぜ日本に文化の神学が必要なのか——内村鑑三の文明論を中心に」（『聖学院大学総合研究所紀要』47号，2010年），「関東大震災と説教者——植村正久と内村鑑三に即して」（『説教黙想 アレテティア』，日本キリスト教団出版局，2011年）など。

田村 綾子 たむら・あやこ

聖学院大学人間福祉学部人間福祉学科教授（2018年4月より，心理福祉学部心理福祉学科教授）。明治学院大学大学院社会福祉専攻博士後期課程満期修了（社会福祉学修士）。医療法人丹沢病院（医療福祉相談室長），日立製作所（西湘健康管理センター）等での精神保健福祉士としての経験を持つ。

精神保健福祉士，社会福祉士。公益社団法人日本精神保健福祉士協会副会長・認定スーパーバイザー。日本スピリチュアルケア学会認定スピリチュアルケア師。

〔著書〕「かかわりの途上で——こころの伴走者PSWが綴る19のショートストーリー」（共著，へるす出版），『福祉の現場で役立つスーパービジョンの本——さらなる飛躍のための理論と実践例』（共著，河出書房新社），『人間福祉スーパービジョン』（共著，聖学院大学出版会），『ソーシャルワークプロセスにおける思考過程』（編著，中央法規出版）など。

堺 正 貴 さかい・まさたか

東京理科大学理工学部物理学科卒業。東京工業大学大学院総合理工学研究科物理情報システム創造専攻修士課程修了。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科前期博士課程修了。現在、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科後期博士課程在学中。

大橋 良枝 おおはし・よしえ

聖学院大学人間福祉学部こども心理学科特任講師。国際基督教大学教育学研究科博士後期課程修了。教育学博士。教育相談、開業臨床での臨床心理士としての活動を経て現職。精神分析的な心理療法を専門とする。埼玉県教育委員会特別講師。主要な研究テーマは重度神経症、愛着障害の査定と心理療法、集団精神療法。

Mehran Sabet サベット・メヘラン

ナショナル大学院修士課程修了MBA（経営学修士）（アメリカ・カリフォルニア州）。現在、聖学院大学欧米文化学科教授。

〔著書〕『留学生が見たカルチャーショック 日本』（共著，知玄舎，2010年）。

〔論文／発表〕“Dynamic Speaking Assessments,” *TESOL Quarterly* Volume 43, 2009, “In our own words: Japanese and foreign university students and their lessons on life and learning outside their home cultures,” JALT Learner Development SIG forum, 2015, “Preparing Students to Work in a Globalized Business Environment” (『聖学院大学論叢』第30巻第2号, 2017年) 他。

中川 英幸 なかがわ・ひでゆき

アイダホ・アルバートソン大学政治学部アメリカ政治学科卒。サンフランシスコ州立大学大学院英語学科TESOL修士課程修了。聖学院大学基礎総合教育部特任講師（ECA科目担当）。

〔論文〕“Fostering Student Learning in a Movie-Based Course Focusing on Vocabulary Acquisition and Movie Comprehension”『聖学院大学総合研究所紀要』No.52（共著，聖学院大学総合研究所，2012年）など。

小林 茂之 こばやし・しげゆき

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程博士論文提出資格取得，単位取得満期退学。2003年より聖学院大学人文学部所属，2016年4月より同教授。2012～13年度ケンブリッジ大学クレアホールコレッジ客員研究員として英国ケンブリッジに滞在。2013年より同コレッジ終身メンバー。英語歴史言語学，通時統語論，比較統語論専攻。主な研究テーマは，古英語・中英語における言語変化。英訳聖書および初期英語キリスト教文献へのラテン語・ギリシア語からの影響を中心に，文献学・歴史学との学際的研究も進めている。